

学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立八尾支援学校
校長名	古川 綾子
准校長名	山崎 夏生

開催日時	令和6年7月5日(金) 10:00 ~ 11:40
開催場所	本校 図書室
出席者(委員)数	5名
出席者(学校)数	13名
傍聴者	1名
資料	第1回次第、名簿、実施要項、令和6年度卒業生進路状況調査票、令和6年度使用教科用図書一覧表、各学部授業アンケート、令和6年度学校経営計画
備考	

議題等(次第順)

- 開式の辞
- 校長挨拶
- 学校運営協議会実施要項【説明】
- 報告
 - ・ 令和6年度 学校経営計画
 - ・ 各学部の状況
 - ・ 令和5年度 卒業生の進路状況
 - ・ 令和6年度使用教科用図書の選定について
- 1学期授業アンケート結果について
- 質疑応答
- その他
- 准校長挨拶
- 閉式の辞

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 校長挨拶
 - ・ 少子化が進んでいる反面、支援教育を必要とする児童生徒は増えている。6月に行われた本校の学校見学会の参加者は昨年度の1.5倍に増加した。地域の学校からの相談件数も増え、昨年度は300件。最近は高等学校からの相談も増えてきている。
 - ・ 働き方改革として、委員会を必要最低限にし、併せて校務分掌の再編をした。校務分掌についてはグループ制にして、メール会議などを行いやすく整備した。残業時間は昨年度に比べて13%削減されている。
- 報告
 - 【R6年度学校経営計画】
 - (校長)
 - ・ 教員向けの公開授業週間を2回実施。
 - ・ ICTの活用に向けて、校務分掌に情報部を新設した。
 - ・ 今年度は初任教員が9名。指導に当たっては指導教諭を中心にサポートしている。
 - ・ キャリア教育の推進のため、各学部にキャリアコーディネーターを設置した。
 - ・ 校区のいびつさが原因で、小中学部児童生徒数が膨大で高等部生徒数が少ない。今後の中高一貫を見据えて、現在、校時変更に取り組んでいる。今年度は中高合同運動会を行った。
 - ・ 避難訓練を保護者を巻き込んで行いたい。マチコミなどを活用した安否確認など検討中。教職員対象の人権研修を保護者と共催という形で実施する予定。
 - ・ 近年、ケース会議にデイサービスも参加してくれている。関係機関との連携必須。

(准校長)

- ・高等部生徒減少に対応した教育体制の構築として、縦割りの授業を検討中。
今年度は美術・家庭科で中学部の教員が学部を渡って授業を行い、専門性の高い授業を展開している。
高等部内の行事に関しても学年ごと→縦割りにすることで効率化を図ろうとしている。
- ・今年度教育庁から配信されたおそうじ手帳を活用して、全校で一貫したキャリア教育に取り組む。

【各学部の状況】

(小学部)

- ・あそびの時間で学部内交流が進んでいる。前期の教育相談を41件予定している。
加えて後期教育相談を控えている。これまで一番多い学年と同じくらいの規模。教室不足が懸念される。

(中学部)

- ・LineなどSNSのトラブルが起きている。学校見学会は2日間で94名の参加があった。

(高等部)

- ・学校見学会・教育相談は例年通りの規模。校区再編成がなければ今後も同じくらいの生徒数で推移するだろう。
- ・高2生徒が情報リテラシー標語で総務大臣賞を受賞した。『中傷に大中小はないでしょう』

【令和5年度卒業生の進路状況】

- ・中学部卒業生の進路先は多岐に渡っている。
校区分に4つの支援学校、高等支援学校、高等専修学校などに進学している。
- ・高等部卒業生は3名が企業就労、4名が就労継続支援A型利用。この4月に就労継続支援A型の報酬改定があり、状況は厳しくなっている。学校近くの企業に訪問して作業させていただくなどして、意欲を高めていきたい。

【令和6年度教科書選定について】

- ・教科書は検定教科書、文科省著作教科書(星本)、一般図書の3種類に分かれる。
- ・星本に社会、理科、職業、家庭科が追加された。
- ・高等部は就学奨励費も活用しながら採択をしている。

【1学期授業アンケート結果について】

- ・全学部通じて概ね良好な評価を保護者よりいただいているが、記述で様々な意見もあったので今後の授業改善に努めていく。

●質疑応答

【質問および回答】

Q：児童生徒の健康維持・管理について、保健室に常駐されている保健士は何名いるか？生徒の保健室利用の人数は？

A：本校に保健士はいない。養護教諭が2名、医ケアのための看護師が1名常駐している。保健室利用については、運動会前や冬の時期はけが人などで保健室利用が増える傾向。

Q：防災教育の目標について、生徒一人ひとりの個別避難計画はあるか？

A：個別の計画はないが、クラスごとの経路などを設定している。

Q：LINEトラブルの話が上がったが、情報モラル教育について実践していることがあれば教えてほしい。

A：文面では読み取りづらい生徒が多いので、昨年・今年と外部講師を招いてSSCに取り組んでいる。

Q：どの高等部生徒も最低1回はケース会議を開いているのか。課題がある場合だけ開催しているのか。

A：全員に対してケース会議を行っていない。希望や必要があれば実施している。また、緊急の場合があれば即時対応している。

●准校長挨拶

- ・今年度の中高合同運動会をきっかけにして、今後は中学部3学年、高等部1学年の計4学年というかたちで取り組んでいきたい。また、本校は高等部卒業後3年間のアフターケアを実施している。就・と連携することで、定着率は他校に比べて高水準を維持している。卒業後の相談場所が明確になるように在学中から支援を強めていきたい。
- ・高2生徒作成の標語が総務大臣賞を取った記念品として、案内板をいただいた。次回以降活用していきたい。

次回の会議日程

日程	令和6年 12月
会場	本校 図書室